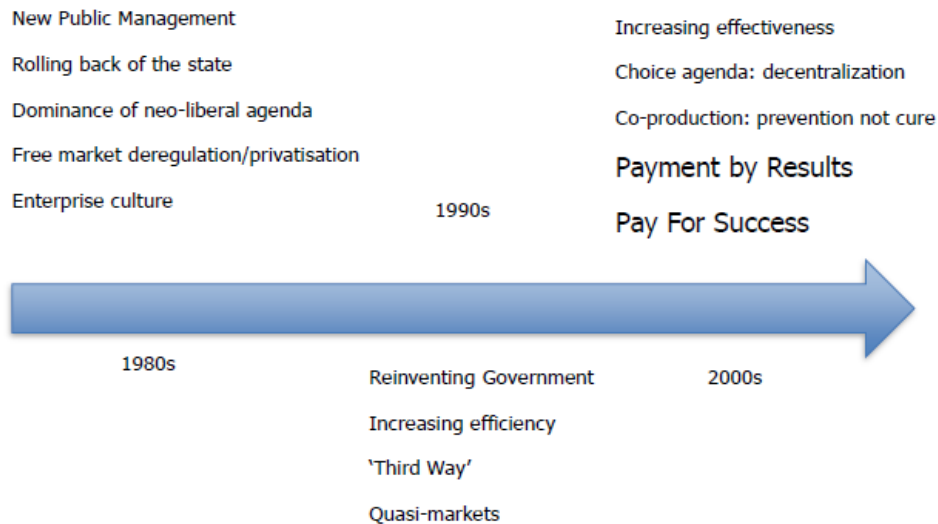


# Context: Policy Change



PFS のモデルは右側のほうにあります。この PFS の中に SIB が入っているのですが、それが、先ほど申し上げた発展版です。一元化された福祉モデルだけでは、国民全てにサービスを届けることができないという考え方ですが、民営化は良くないという批判ももちろんあります。しかし、イデオロギーは別として、多くの福祉国家においてそういう方向に動いていっているということが、現実の流れとして存在します。

投資家の間にも、持っている資本を社会的なインパクトのために使いたいという考えがあり、また、福祉国家の建て付けが変わってきました。民間のプレイヤーの力をもっと借りようという流れが背景にあって、その流れの中で SIB が出てきたということをまず理解しておかなければなりません。

## • 2015 Manifesto Pledge

イギリスでは、これまで SIB について政策レベルで活発な議論が行われてきました。今年、総選挙を行うことが先日発表されたばかりです。この図は 2015 年当時の与党であった保守党の選挙公約なので陳腐化して古いものになっていますが、マニフェストの中にも具体的に SIB を政府の行政の福祉プログラムの中で積極的に活用していくということが言われています。もともとは 2010 年の中道左派の労働党政権が導入したのですが、その後、イギリスでは、与党が保守党になっても、連立政権になっても、中道右派の保守党政権になっても、続いている流れであると言えます。6月8日の選挙で極端なことが起こらない限り、おそらく保守党が政権をとるでしょうが、中でもこの流れは引き継がれていくこ

とになるでしょう。

## 2015 Manifesto Pledge



### *We will innovate in how we deliver public services*

We have pioneered ways to deliver high-quality public services, including through getting the voluntary sector more involved. For example, our Work Programme has helped harness the talent and energy of charities to help people turn their lives around and find their way back into work. We will examine ways to build on this type of innovative approach in the future. We have also pioneered the use of social impact bonds and payment-by-results, and we will look to scale these up in the future, focusing on youth unemployment, mental health and homelessness.

• PbR Policy Support (2010-2016)

## PbR Policy Support (2010-2016)



- Peterborough Pilot SIB
- Social Outcomes Fund (£20 million)
- Commissioning Better Outcomes Fund (£40 million)
- DWP Innovation Fund (£30 million)
- Youth Engagement Fund (£16 million)
- Fair Chances Fund (£15 million)
- Life Chances Fund (£80 million): 'to grow the number and scale of SIBs' with a view to **generating public sector efficiencies by delivering better outcomes...** and building a clear evidence base of what works' (Cabinet Office, 2016b: 1)

上の図は成果ベースの支払い (Payment by Results: 以下 PbR) について具体的にどうい

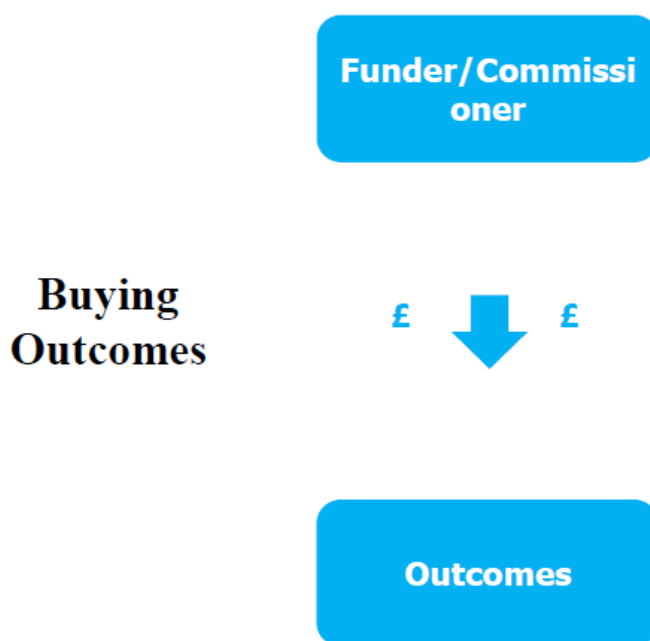
う取り組みをイギリスはしているかです。

PbR の契約は、必ずしも民間のお金を最初に使うわけではありません。行政が資金を出してプロジェクトを実施し、成果が出たときだけ行政が支払うということです。そこに民間の資金が入れば、PbR が SIB になるというふうにご理解ください。

8,000 万ポンドを政府が出しております。ライフ・チャンス・ファンドに入れているわけです。このファンドは SIB の数を増やすためのものです。つまり、イギリスでは行政が SIB を積極的に育てるために、積極的にお金を出しているという流れがあるわけです。すでにご存知の方には、申し訳ありませんが、一応おさらいをしておきます。

#### • Creating Social Outcomes

## Creating Social Outcomes

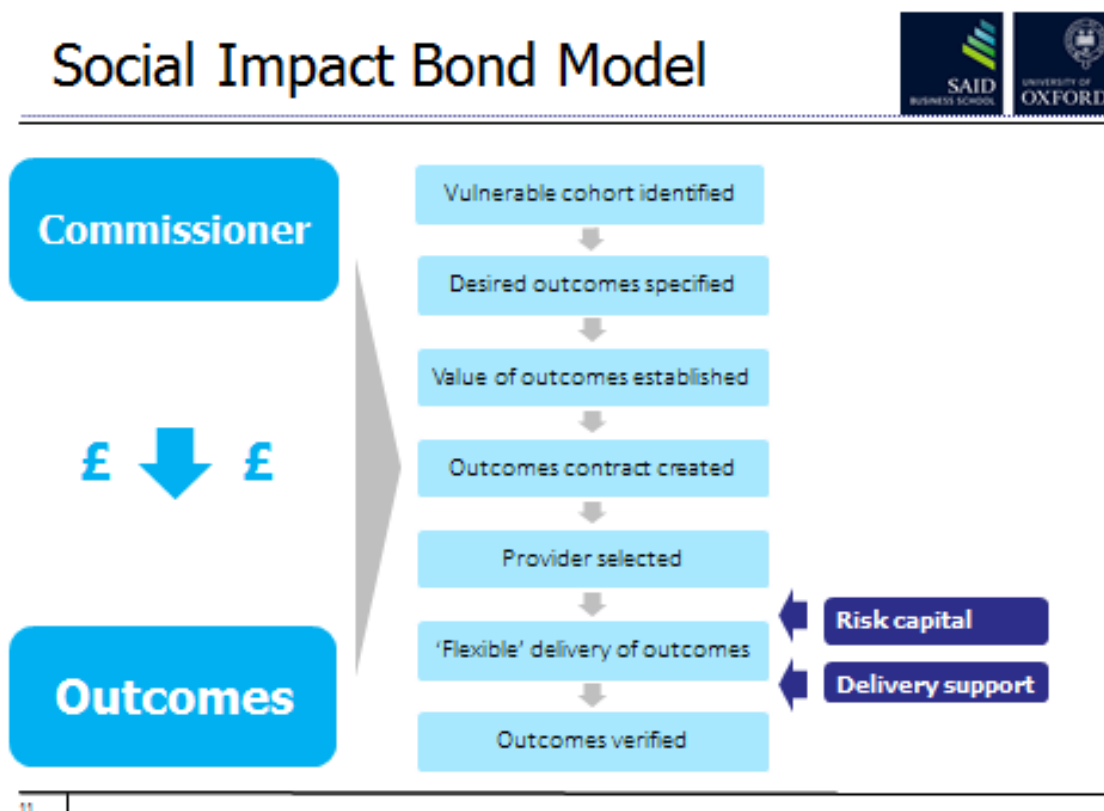


SIB の考え方の大きな特徴は、活動を買うのではなくて成果を買うという考え方です。つまり、これまでは、行政、委託側は、一定の対象者に対してプログラムを実施してもらったなどの活動のためにお金を払っていました。例えば、子どもの識字率を上げるプログラム、失業者が職業斡旋を受けるようにというプログラム、そういった活動のために払っていたのですが、活動に対してお金を払うのではなく、成果に対してお金を払うというのが SIB です。実際に効果があったとき、目的にかなった成果が出たときだけ支払うということです。つまり、識字率改善のプログラムに参加した子ども数をベースとしてということではなくて、実際に読み書きが改善した子どもが出てきたら、それに対して成果ベースで

払うということです。

あるいは、プロジェクトを行ったことによって再犯率が下がったという効果が出たら、その効果と言うか、その成果に対して支払いをしましょうというのが、SIB の考え方です。

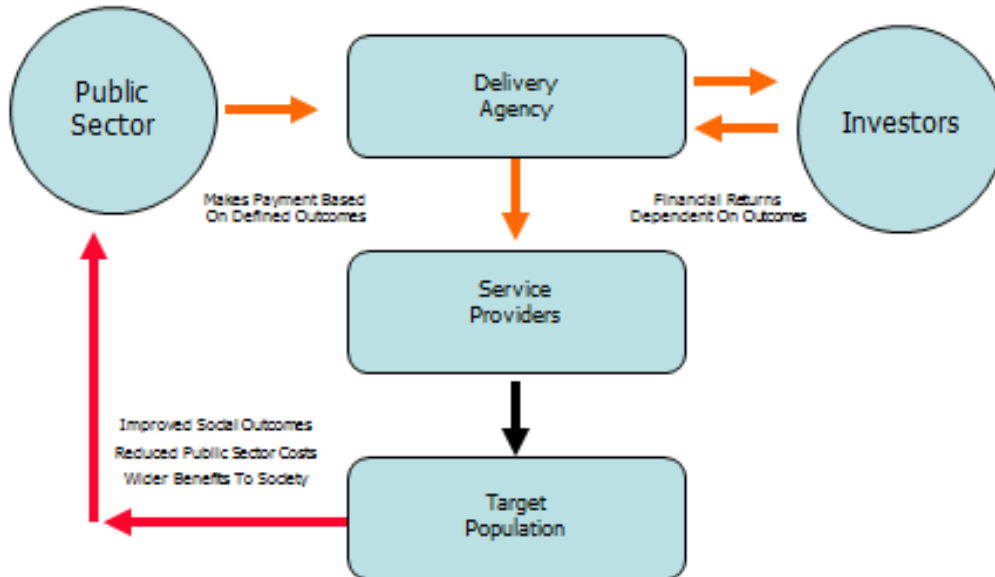
## • Social Impact Bond Model



右側の濃い青色の部分为民間の資本です。PbR の中に、これが入ってくると SIB ということになります。PbR は PFS と同じですが、脆弱な立場に置かれているコホートを選んで成果を定義して、それを評価して、そして契約を結んで、サービスプロバイダーを選んで、革新的なサービスを提供し、その成果を評価する。これは行政だけで完了させることもできますが、民間を入れるケースもあるということで、イギリスでは、これがマーケットとして大きくなっています。

PbR のマーケットは、おそらく政府の出している金額としては150億ポンドぐらいです。SIB については、いま契約金額は3億ポンド弱ぐらいの規模になっています。つまり、SIB は非常にエキサイティングな取り組みではありますが、PbR の中での割合という意味では、福祉国家の多くにおいて我々が思っているほど高い割合ではないということです。リスク資本を入れて、デリバリーのサポートを入れる、すなわち、民間の力を入れると SIB になるということです。

# Social Impact Bond Model



12 |

こちらが標準的なモデルです。少し複雑な図になっていますけれども、キープレイヤーは基本的には三者か四者です。

まずは最終的に成果が出たときに支払うつもりがあるプレイヤーが一番左側にあります。多くの場合強制で、最終的に資金を払わなければなりません。

そして民間の資本、これはプロジェクトの最初の段階で運転資金やリスク資本という形で投資家がお金を出します。そして新しいサービスを提供するという形になります。

実際にサービスを提供するのが、サードパーティー、デリバリー組織、現場でサービスを提供するプレイヤーです。つまり、投資家からもらった資金を使って対象者にサービスを提供します。そして、成果が当初合意されていた目標値を超えたら、返済メカニズムが発動されて、公共セクター、行政から投資家に対して資金が支払われるということです。

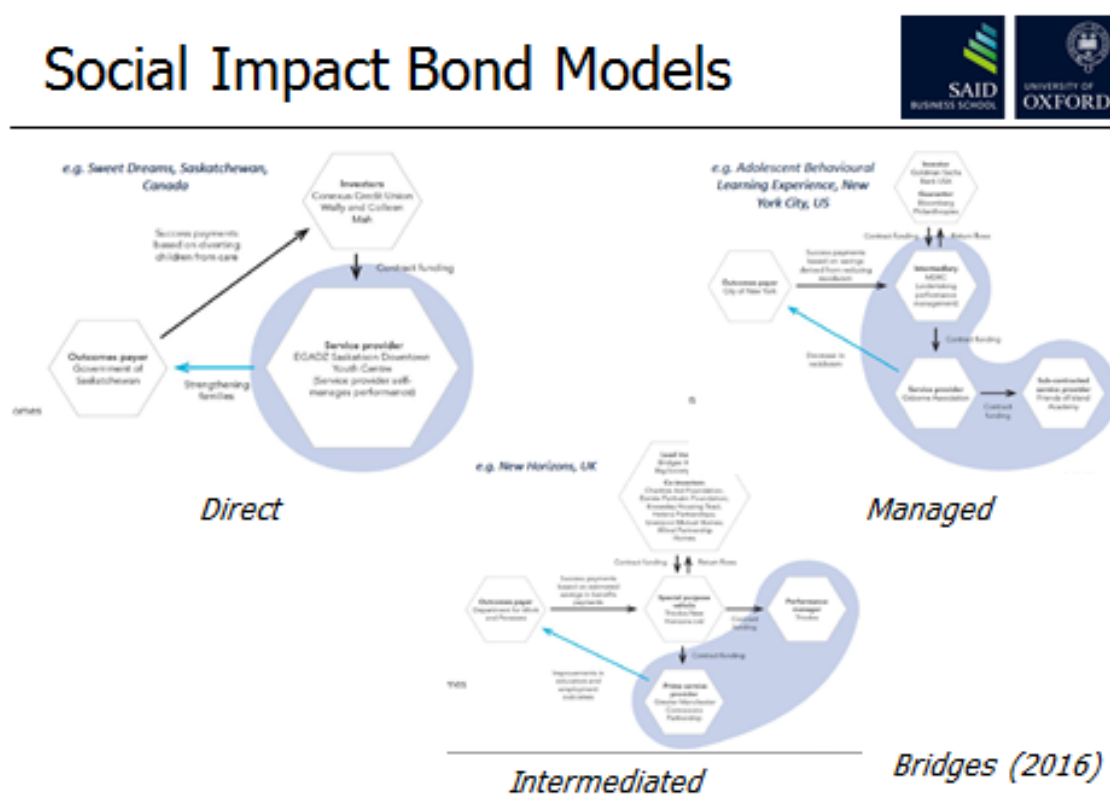
これらのプレイヤーの全てが揃ってないと SIB は成功しません。全ての参加者にとって機能する契約をつくり込まなければならないということで、単純ではありません。

## • Social Impact Bond Model

SIB のモデルです。図が細かすぎて見えないのですが、2016 年までのブリッチがやった調査によりますと、サービスプロバイダーが、投資家や行政と契約をして実施するという最も簡単なモデルから、下請も入れた、あるいは SPV (特別目的事業体: Special Purpose Vehicle) を設立して資金面を手当てするという複雑なものまで 3 つの主なタイプがありま

す。つまり、SIB といっても、1つのタイプだけではなく、さまざまな試みが行われています。しかし、いま出てきているモデルは、主にこの3つです。

あと、取引コスト (transaction cost) が高いという問題もあります。こういったモデルを設計するには、時間もかかるし、お金もかかる。ピーターバラの SIB は、2年から2年半かけて契約を設計しなければなりません。7年たっても取引コストはまだ下がっていません。



### • Necessary Conditions For A SIB

ということで、SIB がちゃんと機能するためには、いま申し上げたような要素が全て揃っていないと上手くいかないということです。つまり、何をターゲットとするのかという社会課題をまず定義しなければなりません。いまのサービスでは解決できていない、あるいは全くサービスがないような部分は何なのかということです。

成果をしっかりと評価できる仕組みも必要です。クリアな成果の評価ができなければなりません。そこに曖昧さが残ってはいけません。そうすると、当然実施できるプロジェクトは限られてくるかもしれません。成果を測るのが難しいからです。当然、SIB が適合するプロジェクト、そうでないプロジェクトがあります。

それから、投資家が重要だということを申し上げました。最初にリスクをとってくれる

人が必要です。さらに、成果が出たときに支払ってくれるプレイヤー、そして現場で実効性の高い効果の上がるサービスを提供するプレイヤーが必要だということです。

SIB には批判もあるということは先ほど申し上げました。市民社会の中には、SIB にとっても批判的な団体もあるわけです。これらの中には、民営化そのものだから良くないという声もあることは認識しておかなければなりません。

## Necessary Conditions For A SIB



- A 'social problem' for an identifiable population who are poorly served by current services
- There is a measurable social outcome
- There are investors willing to take some or all of the performance risk
- There is an ultimate payer who is prepared to pay for specific, evidenced, social outcomes that are either:
  - Cheaper than existing provision
    - Savings can be demonstrated and captured by the ultimate payer
  - Better than existing provision even if more expensive
  - Or both
- There are social sector service providers who can deliver effective services

### • Motivations

では、なぜプレイヤーは参加するのでしょうか。市民社会、投資家、政府、それぞれどういうモチベーションがあって SIB に関心を持つのでしょうか。

行政から見れば、効率を高めることができる、コストを抑えることができる、リスクを移転することができる、そういうメリットがあります。

投資家としては、社会的・経済的な成果を自分の資金を使って高めることができることに加えて、インパクトをしっかりと評価してもらえるメリットがあります。

市民社会からすれば、潤沢な資金を得ることができる、そして、分野の垣根を越えたコラボレーションを進めることができるといったメリットがあるわけです。

SIB には、大きなポテンシャルがあります。官民の、そして市民社会の利益を一致させることができるというポテンシャルです。この 3 つのプレイヤーは、さまざまなモチベーションを持っています。この三者が同じインセンティブで合意をするということは、そうそ

うあることではありませんが、SIB を使えば、それが実現できます。そういうポテンシャルを持っているのが SIB です。

## Motivations



Government	Investors	VCSE Organisations
A more cost effective solution	Achieving blended returns – social and financial	Accessing PbR contracts and scaling interventions
Transferring risk		
Harnessing innovation	Introducing a metric for impact	Receiving a committed, multi-year funding stream
Measuring outcomes and pursuing evidence based interventions	Enabling mission related investment	Working with consistent goals and support to build evidence base
Aligning interest across different levels of government – co-commissioning		

### • Social finance UK

Social finance UK のウェブサイトには、さまざまなツールがありますので、アクセスしてみてください。いま世界で SIB がどういう状況になっているかがわかります。

先週の段階で、インパクトボンドの数は 74 件、調達額は 2 億 7,800 万ドル、そして 10 万 6,551 人の命が助かっています。

それぞれの国のアイコンをクリックしますと、どういうプロジェクトがあるのかが細かく出てきます。あとでオーストラリアのケーススタディの話もあると思いますが、非常にいろいろな情報が入っています。

どういう分野で SIB が使われているか、成果分野をまとめたものです。いま一番多いのは、労働者育成です。ただ、これにはイギリスのプログラムが大きいので、その影響が入っているかもしれません。ホームレスや路上生活者向けのプロジェクトも知られていることです。SIB は、もともと再犯を抑えるためということで始まったのですが、再犯防止の分野は、必ずしも大きな広がりを見せていないということがわかります。





#### • SIBs Under Development 2017

いまは変わっているかもしれませんが、開発中の SIB です。世界中にあります。日本にもあります。ほかの大陸でも全部、何らかの形で SIB をやろうという計画が出てきています。これは非常に大きな世界的な動きになっております。

いま、横浜市にお邪魔しているわけですが、共創推進室では、素晴らしい取り組みが進んでおります。私も、今後、横浜市の取り組みに注視していきたいと思っています。

# SIBs Under Development 2017



17

## Colombia Workforce SIB

今年初め、最初の SIB が途上国で発表されました。コロンビア、ラテンアメリカの国です。詳しくはお話しいたしませんけれども、このスライドが必要な方は、私に直接、あるいは主催者を通してご連絡ください。ぜひお渡ししたいと思います。

今年 3 月にコロンビアで就労支援の SIB が始まっております。これは政府、省庁との協力のもとで行われています。投資家がいる、若い人たちの就労支援を目指したものです。

社会繁栄省が 22 億コロンビアペソの半分を提供しております。これは約 76 万ドルに相当します。スイス政府が残りの成果に対する支払いを提供しております。また、現地の財団投資家が参加しております。これらの財団が投資を主に提供してきた機関です。あと裕福な個人も資金を提供しております。私たちがアドバイスを提供しています。

これがどういう指標なのかを以下に示しています。これは途上国での初めての例なので重要だったと思います。

# Colombia Workforce SIB



- March 2017 first SIB in a developing country
  - Targets skills training and employment support to vulnerable, unemployed individuals in Bogotá, Cali, and Pereira
- Will support a range of employment measures for 514 vulnerable individuals
- Particularly targeted at high school graduates between 18 and 40 years old, who:
  - Are not formally employed at the start of the program
  - Score below 41.74 on SISBEN (a poverty measure)
  - Are registered in Red Unidos (the extreme poor)
  - Are victims of displacement due to the armed conflict
  - Have not previously participated in Prosperidad Social's similar employment programs.

## • DIBs

# DIBs



## DIBs



- Peru
  - Sustainable coffee and cocoa production
- India
  - Rajasthan girls education

これと関連して DIBs (Development Impact Bond)、開発インパクトボンドがあります。これは開発に関わる機関が関わっており、開発金融と関連があります。成果に対して支払うのは、例えば開発金融機関、大きな多国間機関などになります。

一例として、小規模なペルーの事業があります。持続可能なコーヒーの生産に関するものです。また、より有名なのは、インド北部のラジャスタンのパイロットプロジェクトです。女子教育に関するものです。詳しいことはお話しいたしません、もし必要であれば、あとでお読みください。それぞれのアウトカム契約の概要があります。財団も関わっています。

- Peru DIB

## Peru DIB



- Launched in 2015 to support 99 farms in indigenous communities in the Peruvian Amazon region to restore their growing plots and improve on yields of coffee and cocoa
- Investor was Schmidt Family Foundation
- Outcome payer was Common Fund for Commodities (up to \$110,000)
- Service deliverer was Rainforest Foundation UK
- The independent verifier, KIT, appraised on the field the results achieved by the project

ペルーは、Schmidt Family Foundation が投資家です。また、その他の多国間機関が主なプレイヤーとして参加しています。

幾つかの指標があります。これはアウトカムよりはアウトプットにフォーカスしていると言われるかもしれません。コーヒーの売上を増やすとか、ペルーの特定の母集団をターゲットとしたものだからです。コーヒーのサプライチェーンの中で一部の対象としたものなので、フェアトレードという考え方に近いと思います。地域社会の豊かさ、幸福を上げることが目指しています。また、多くのインパクトの指標が達成されましたので、そういった意味で成功と言えると思います。

#### ・ Rajastan DIB

## Rajastan DIB



- Investor was UBS Optimus Foundation who provided \$238,000 in working capital to fund the service delivery
- The Children's Investment Fund Foundation serves as the outcome funder
  - To pay 43.16 Swiss francs (\$44.37) for each unit of improved learning and 910.14 francs (\$935.64) for every percentage point increase in the enrollment of girls out of school
- ID Insight evaluated the improvement in learning of girls and boys in the treatment schools in comparison to a control group
- Instiglio provided technical assistance to all parties during the design of the DIB

ラジャスタンの DIB は女子教育に関するものです。これはボランティアを訓練して動員して、家族が、少女たちを学校に行かせるということを目指しました。

また、これは、カリキュラムの強化プロジェクトでもあります。少女が教育を受けるということは、多くの国、特に途上国で課題となっております。そのために、これは非常にインパクトの強い問題への対応の仕方だと言えると思います。

UBS Optimus Foundation が運転資金を提供しています。これはパイロットとしては小規模なものです。23 万 8,000 ドルです。また、Children's Investment Fund Foundation がアウトカムの資金を提供しております。

# Rajasthan DIB: Year 1 Results



	Metric	Target (equivalent to 10% IRR)	Year-one result	Progress towards target
Enrollment	Girls that were out of school at the baseline that enroll in grades 2-8 at least once over three years Total out of school girls at baseline	79%	44%	Currently 42% of target (estimated) <sup>1</sup>
Learning	Levels of improvement on the ASER test in Hindi, English, and Math <sup>2</sup> for boys and girls, in comparison to a control group	5592 levels (average of 0.73 levels across 7,632 students)	1537 levels (resulting from a 23% improvement in learning in comparison to the control across approximately 3,000 students <sup>3</sup> )	Currently 27% of target

<sup>1</sup>Contingent on how many new out of school girls are identified each year. This estimate is based on the assumption that 108 girls will be identified each year.

<sup>2</sup>Students can score between 1 and 5 for English and Math and between 1 and 6 for Hindi

<sup>3</sup>The learning levels also include levels achieved by girls out of school at baseline, who are assumed to be at level 0 at baseline.

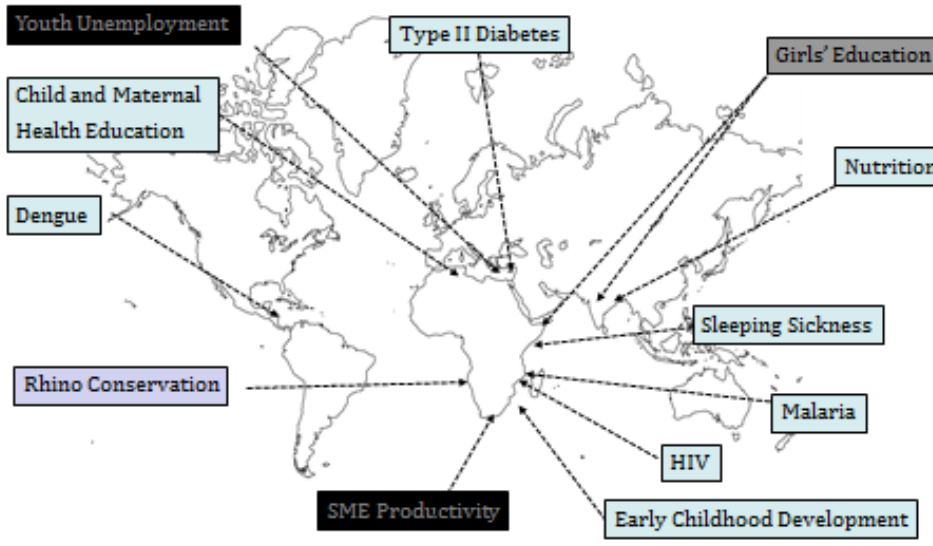
1年後、2つの主な指標に進捗が見られました。少女の教育へのアクセス、就学が増加し、母国語の能力も高まりました。非常に心強い進捗が、この対象で見られましたが、これはあくまでもパイロットです。

## ・ DIB Pipeline (2017)

また、DIB の多くは現在もまだあります。急速にこの分野で物事が進展しています。そんなに古いのではないのですが、この表はすでに古くなっているかもしれません。現在、仕掛中のプロジェクトがあります。例えば糖尿病保存医療について、開発途上国の各地で行われています。特にアフリカ、アジアに多く見られます。

このように、このモデルは、これから展開されて開発効果を上げることが期待されます。

# DIB Pipeline (2017)



20

NIK

## KEI ASIAN REVIEW

NIKKEI  
ASIAN REVIEW

[Log in](#) | [Subscribe](#) | [About Nikkei Asian Review](#)

Sort by Region ▼

Search articles

Search companies

Home | Politics & Economy | Business | Markets | Tech & Science | Viewpoints | Life & Arts | Features | Japan Update | Print Edition

Markets > Tokyo Market

[f](#)
[t](#)
[in](#)
[g+](#)
[e](#)

August 23, 2016 2:00 am JST

### Japan development agency to issue social impact bonds

TOKYO -- Some 20 billion yen (\$199 million) in social impact bonds will be issued by the government-affiliated Japan International Cooperation Agency as early as September, a move that could give momentum in the country to socially conscious investment.

So-called ESG investing -- a strategy focusing on environmental, social and corporate governance issues -- has taken off in the U.S. and Europe. ESG investment worldwide is said to be in the tens of trillions of dollars.

The International Capital Market Association, an industry group comprising major global financial institutions, set out guidelines for social bonds in June, and the JICA bonds will be the first in Japan to adhere to the rules.

JICA is close to obtaining certification from a third-party think tank that its upcoming offering meets these conditions. The money raised will be used to help fund projects in developing countries, such as ones in Myanmar's Thilawa Special Economic Zone and geothermal power facilities in Kenya.

The yen-denominated offering will consist of two 10 billion yen tranches with maturities of 10 years and 20 to 30 years. Nomura Securities, Daiwa Securities and Mitsubishi UFJ Morgan Stanley Securities will be among the lead managers. The bonds will be sold to insurers and other domestic institutional investors.

#### Market data

Nikkei 225	16,619.29	+114.28	+0.70%
DJIA	18,212.48	+177.71	+0.99%
Hang Seng	23,335.59	+144.95	+0.63%
USD/JPY	101.82	-0.62	-0.61%
USD/CNY	6.67	±0.00	±0.00%

Data delayed by at least 15 minutes.

[Nikkei 225 Components](#)  
[About Nikkei Indexes](#)

Capture opportunities through dynamic asset allocation.

nikko am
MULTI-ASSET  
Nikko Asset Management

Follow Nikkei Asian Review

f Like 177K

The best content posted

t Follow GNAR

The latest headlines tweeted

#### Latest headlines

AirAsia short on planes for 2017

Asia's leaders take varying approaches to social media

Bangkok airport expansion gets underway

English soccer's battle for Asian fans heats up

Chinese investors place big bets on venture

日本も役割を果たしております。昨年発表されました。日本の開発機関が2億ドルでアジア地域での開発活動を支援するということから、日本からもいいリーダーシップを発揮されていると思います。

### ・ SIB Overview Reports

新しい文献もいろいろ出ています。さまざまな報告書が出ていて、SIB についてもたくさん書かれておりますので、私に E メールでご連絡いただければ、お渡しできますし、ウェブでダウンロードできるものもあります。

図に示しましたのは、ブルッキングズ研究所のレポートで、昨年までの SIB のことが詳細に書かれております。ブルッキングズのチームはこの報告書をアップデートしていると思いますので、ブルッキングズ研究所のホームページから、情報にアクセスできます。ほかにも英国の内閣府など、その他の機関が提供しております。

